

授業科目名	国際開発論			担当教員	鈴木 清史	
開講年次	3年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	開発途上国の貧困解決と開発に関するさまざまな課題を学習し、開発と国際協力について理解する。					
到達目標	<p>受講した学生諸君は以下の目標達成が期待されている。</p> <p>1) 世界の中の日本の立場を理解することができる。</p> <p>2) 開発とは何かを理解し、説明することができる。</p> <p>3) 地球上で見ることができる開発事例をとおして、日本で暮らす自分たちが彼我の視点で地球規模の思考のあり方を考えることができる。</p>					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	世界・地球を眺める視点	講義	世界の国々はどのように分類できるのか (復習)	1時間	鈴木	
2	多様な世界の現実 (1) 文化の側面	講義	文化とは何か再確認 (復習)	2時間	鈴木	
3	多様な世界の現実 (2) 経済の側面	講義	「貧富」は問題なのか (復習)	2時間	鈴木	
4	開発とは何か	講義	開発は是か非か 理論的側面から (復習)	2時間	鈴木	
5	事例研究 アジアの場合	講義	事例と理論の検討 (1) (復習)	2時間	鈴木	
6	事例研究 アフリカの場合	講義	事例と理論の検討 (2) (復習)	2時間	鈴木	
7	事例研究 南米の場合	講義	事例と理論の検討 (3) (復習)	2時間	鈴木	
8	開発を担う機関	講義	各国の機関を整理しそれらの特徴をまとめる (予習)	2時間	鈴木	
9	まとめ	講義	国際・開発を再考する (復習)	2時間	鈴木	
10	国際援助と開発	講義	援助と開発 理論的側面 (復習)	2時間	鈴木	
11	開発と人びと (1)	講義	開発に巻き込まれた人々の事例検討 (1) (復習)	2時間	鈴木	
12	開発と人びと (2)	講義	開発に巻き込まれた人々の事例検討 (2) (復習)	2時間	鈴木	
13	開発は発展途上国だけのものか	講義	先進国と開発 (復習)	2時間	鈴木	
14	「よい開発」と「悪い開発」	講義	開発 概念再検討 (1) (復習)	2時間	鈴木	

15	まとめ 「開発」再考	講義	まとめ	2 時間	鈴木
先行履修 科目	2 年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	特に指定しない。				
参考文献	斎藤文彦：国際開発論. 日本評論社, 2005. 山本一巳・山形辰史 編： 国際協力の現場から—開発にたずさわる若き専門家たち. 岩波ジュニア新書, 2007. アマルティア・セン：貧困の克服—アジア発展の鍵は何か. 集英社新書, 2002. ムハマド・ユヌス：ムハマド・ユヌス自伝—貧困なき世界をめざす銀行家. 早川書房, 1998. 坪井ひろみ：グラミン銀行を知っていますか?. 東洋経済新報社, 2006. 佐藤寛：開発援助の社会学. 世界思想社, 2005. 佐藤寛 編：テキスト社会開発. 日本評論社, 2007. 青柳まちこ 編：『開発の文化人類学』. 古今書院, 2000.				
科目の 位置づけ	本講義は、将来海外で看護活動などを行うとすれば、自分の活動がその地の人々にとってどのような意味を持つのかを考えるためのきっかけとなることを目的としている。科目は人文社会科学系だといえるが、人間にまつわる事象を取り上げるという点では、看護と通じるものだがあると考えられる。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		◎		○	
評価方法	授業への参加 (40%)、2 つのレポート (各 30%) で総合的に評価し、最終講義でフィードバックする。				